

「^{つむぐ}紡 ～輝きを見中に、そして見附に～」

「紡」…今年度の生徒会活動を象徴する漢字です。地域と繋がることや、生徒同士が繋がることを通して、見中の新たな歴史、行事での感動や達成感を「紡ぎ出す」ことを目指します。

そのために、①地域と繋がったり、②生徒同士が繋がったりする活動を継続し、さらに発展させます。①では、地域コミュニティの方から要望を聞いたり、見中に地域の方を招く機会を設けたりするなどして、より活発な交流を目指します。②では、日常生活や委員会活動の良い行動を紹介しあったり、メッセージを送りあったりすることで繋がりを強くし、感動や達成感を紡ぎ出します。

～輝きを見中に、そして見附に～

今年度の友和会の目指す姿です。私たちを支え、応援してくれている見附を元気にし、笑顔をお届けすることを願って設定しました。

見中生の笑顔や積極性、一生懸命に何事にも取り組む姿といった日々の輝きをさらに磨き、学校生活を向上させましょう。その輝きを見附に届けることを目指します。

以上のことを実現するために、以下の具体的方策を掲げます。

1、全校生徒が輝くために努力！

- ・各月ごとに、委員会を取り上げ、学校のための活動内容を共有し、感謝のメッセージを送ることで、次の活動の意欲が高まり、活動のサイクルを作る。
→活動が認められ、自己肯定感が高まり、次のやる気となる。
- ・Chromebook を活用し、アンケートをとって友和会集会の内容を工夫する。
→みんなで行事や学校について考え、友和会員が楽しむ姿や、学校のために努力をし合う姿を目指す。

2、自己肯定感を高めるために

- ・プール脇にさつまいも畑を作る。
→収穫までの過程や、収穫したさつまいもを通して地域のとの交流に生かす。参加者同士の関わり中で自己肯定感を高めることに繋がるのでは。
- ・やる気の出る言葉を定期的に学校内に掲示する。
→自分に自信を持つことができ、様々な場面で積極性が高まります。失敗を恐れずにたくさんチャレンジしやすい環境を作る。

3、学年の壁を減らすために

- ・1ヶ月に1回のレクを生徒会で企画し、昼休みに参加者を募って行う。
→異学年交流の場を増やすことで、中央委員会での意見交換や交流を活発にし、各学級や学年の問題点の改善のまた運動会やMMF、球技大会でのさらなる盛り上がりを目指す。